

山岳遭難発生状況 41件46人（前年同月比-1件、+1人）
死亡7人、負傷者21人 ※令和4年7月末現在

病気による遭難増加中

○現状

令和4年7月末現在、病気が原因の山岳遭難は5件5人（前年同期比+3件+3人）であり、全体の12%（前年同期比+7%）を占めています。

また、遭難者5人のうち、4人の方が亡くなっております。

病気は、心筋梗塞などの心疾患によるものが多くなっていますので、体調が少しでも優れない場合は入山を控えるとともに、登山中、胸や背中に痛みなどの違和感がある時は、直ぐに足を止め、救助を要請しましょう。

○年代は？

病気が原因の遭難者を年代別にみると

40代が2人、50代が2人、70代が1人と中年層の割合が高くなっています。

体力を過信せず、自分の体調の変化に気を配りましょう。



沢登り・溪流釣りの注意点

沢に入る際は、雨による増水や鉄砲水などに警戒する必要があります。

自分がいる場所で雨が降っていなくても、上流部で雨が降れば水位が高くなり、危険性が高まります。

また、上流部であるほど、短時間で沢に影響が出ますので、天候や沢の変化に気を配るよう心掛けてください。

最近、短時間で局地的に大雨が降ることが多くなっていますので、急な天候悪化の際は、直ぐ沢から上がりましょう。

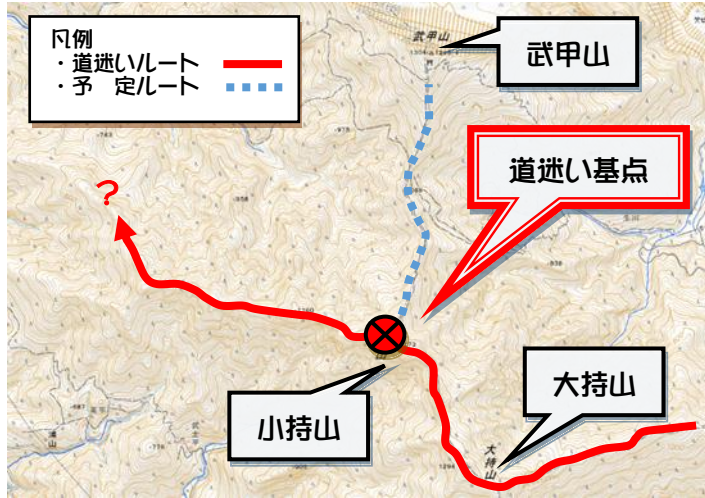


沢登り訓練 宍谷川（秩父市）

小持山・道迷い場所

令和4年6月18日(土)、小持山(横瀬町)において70代男性が道迷いの末に滑落してしまう山岳遭難が発生しました。

遭難者は、小持山山頂付近で下山方向を誤り、道に迷っていることから、今回、道迷いの基点となった場所をご紹介します。参考にしてください。



【全体図】



【拡大図】

○山岳遭難情報はコチラ！

情報発信

Twitter(ツイッター)で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。

アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課
@spp_chisouka



○登山届はコチラ！



山と自然ネットワークコンパス
Compass

<https://www.mt-compass.com/howto.php>

全国山域の登山届がひとつの窓口で提出できます。



登山届(電子申請)

登山届の提出は安全登山の第一歩です。
自分の技量や装備に見合った登山計画を立て、
必ず、家族や身近な人に行き先等を伝えておきましょう。

